

うちなだなんぶ

# 内灘南部地区

(石川県内灘町)

- 計画期間 平成20年度～平成24年度
- 面積 360ha
- 交付対象事業費 171.7百万円
- 町人口 26,165人

**ポイント** 新旧住民が誇りを持って暮らせる  
安全・安心・快適なコミュニティづくり

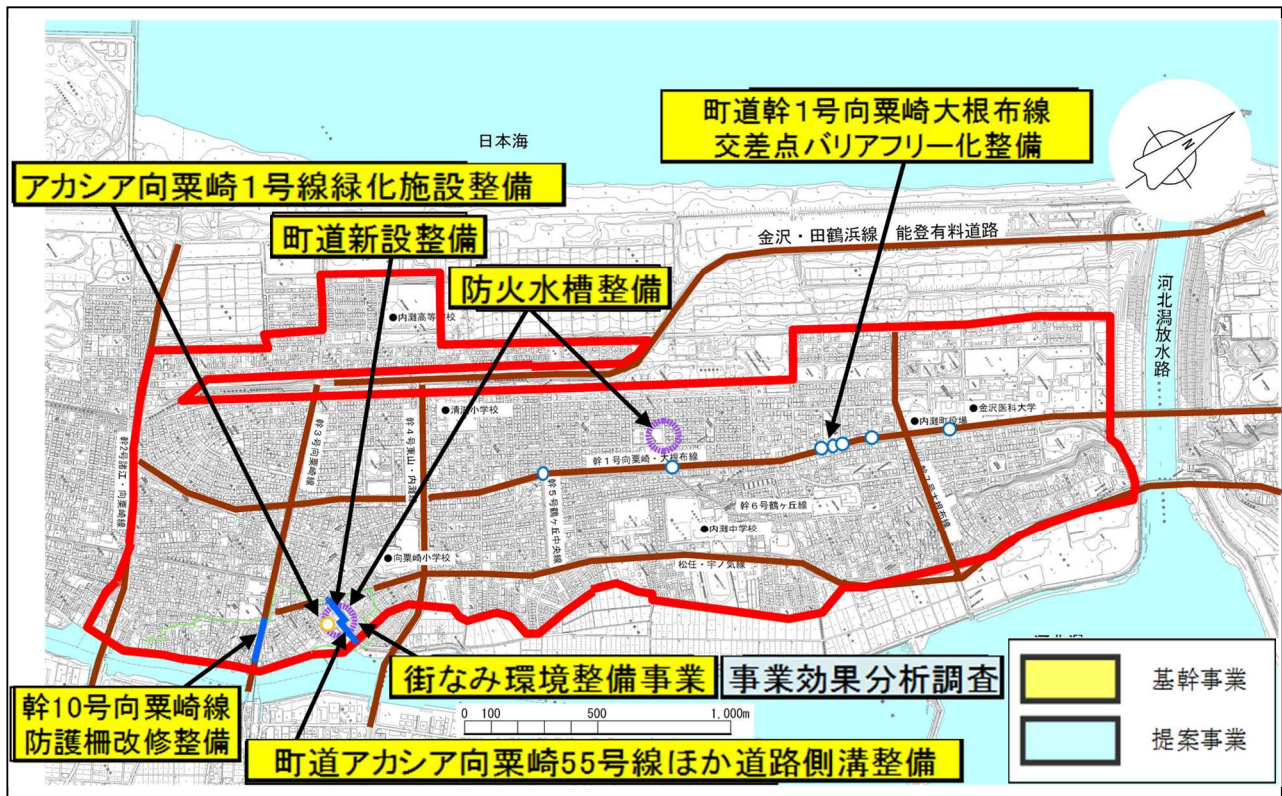
**地区概要** まちなみ環境整備事業等の基幹事業を実施することにより、魅力的で良好な居住環境への改善や生活・防災基盤を整備し、地域が誇る歴史的資源の再生や空家などの活用を図ることにより、安全・安心・快適なコミュニティづくりを図る。

**目標** 向粟崎地区において街なみ環境の整備を中心に実施することにより、防災基盤整備や歴史的資源や空家などを再生し、防災意識の向上と地域コミュニティの活性化を図る。

**指標** まちなみ環境整備を積極的に実施し、居住環境や生活基盤を整えることにより、整備後の生活環境向上による効果を指標とした。

地区内人口	23,370人 (H19)	→	22,500人 (H24)
接道不良住宅率	72.3% (H19)	→	69.8% (H24)
空屋件数	173棟 (H19)	→	176棟 (H24)

**事業内容** 基幹事業 (169.7百万円) → 道路改築 (延長385m+7箇所)、まちなみ環境整備事業 (道路整備、小公園整備)、防火水槽整備 (2基)、緑化施設整備 (24㎡)  
提案事業 (2.0百万円) → 事業効果分析調査



## 地区の現況と課題

当地区は、幹線道路網としての体系は整いつつあるものの、古くから形成されている集落地内や市街地内の生活道路を中心に、狭隘な道路が数多く残されており、防災ならびに除雪、交通安全対策を考慮する軸線としての道路整備を求める声が地域住民から寄せられている。

よって、狭隘な生活道路について拡幅整備を推進するとともに、日常的な防災意識の向上と歴史的資源や空家などを再生、活用し、まちづくりへの展開、地域コミュニティの活性化につなげて、人々を引きつける魅力ある居住環境への改善を図るなど、定住促進に向けた施策展開が必要である。



狭隘な生活道路（向粟崎1丁目）

## 計画策定プロセス

### 向粟崎地区まちづくり協議会の設立

平成17年10月にまちづくり協議会を設立し、地区のまちづくり計画策定に向けての検討を行う。

### 街づくり協定書の承認とまちなみ環境整備事業の認可

地区住民に対し協議会で検討したまちづくり計画の説明会を2回開催し、地区住民の理解を深め、街づくり協定書の承認、まちなみ環境整備事業の認可を受ける。

### 継続的な住民との関わり

継続的に地区住民への説明会や勉強会等を開催し、まちづくりや防災についての意識付けや住民のニーズを聞き入れ、防災ハザードマップの作成等へ活用する。



狭隘な生活道路の整備（整備前）



小公園の整備



狭隘な生活道路の整備（整備後）